

仙台市図書館振興計画（第二次）に基づく取り組み状況と自己評価

仙台市図書館振興計画（第二次）に基づく取り組み状況について、施策ごとに「事業成果」「協議会の意見」「今後の課題」を記載するとともに、図書館としての自己評価を付した。

【各項目の説明】

- ①事業成果…平成 29 年度以降の主な取り組みについて記載。参考数値として、振興計画（第一次）の最終年度である平成 28 年度の数値と、昨年度の数値を掲載。
- ②協議会の意見…各年度の事業報告書に対する意見など、図書館協議会の意見を施策ごとに記載。
- ③今後の課題…今後進めるべき取り組み等を記載。

【市図書館の自己評価】 「計画以上に達成」「概ね達成」「一部課題がある」の三段階で評価。

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館をめざします

（1）文化的で豊かな生活を営む基盤としての図書館サービスに取り組みます

【評価】
概ね達成

①事業成果	平成 28 年度	令和元年度
	蔵書冊数	2,050,182 冊
利用者数	1,323,832 人	1,532,976 人
貸出冊（点）数	4,149,826 冊・点	4,619,785 冊・点
	<ul style="list-style-type: none"> ・各図書館における特色ある棚づくりの実施 ・図書館ごとの資料案内やブックリスト等の継続的発行 ・各図書館の分担収集分野を生かした講座などの企画・実施 ・郷土資料や幅広く活用できる資料の積極的収集 	
②協議会の意見	<p>○地域の中での居場所としての機能をもつ図書館だが、感染症の影響により長時間の滞在を制限している。適切なサービスを提供するため、利用者・図書館双方が安心して利用できる環境づくりが必要とされる。</p> <p>○本そのものが落ち着いた「居場所」であるとの観点から、本を大事にし、出会いの場、交流の場として、発信していく取り組みを進めてほしい。</p> <p>○客観性のある統計データを得るために、貸出利用者のみならず、来館者数や年代別利用者数が把握できるとよい。</p>	
③今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすく居心地の良い「広場」としての図書館の実現 ・資料と人をつなぐイベントの開催等による交流の場の形成 	

(2) 課題解決に取り組む市民を応援します	【評価】 概ね達成
-----------------------	--------------

①事業成果	平成 28 年度	令和元年度
	レファレンス件数 57,101 件	48,641 件
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの全館提供 ・ パスファインダーの情報更新やレファレンス事例集「本の道案内」の発行 ・ 図書館ホームページの刷新 ・ 「いじめ・命に向き合う本」のリストを作成・配布 	
②協議会の意見	○いじめ、命といったテーマに図書館として今後とも取り組んでほしい。	
③今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ レファレンスの利用促進 ・ 分担収集分野や地域の特性を生かした専門機関や関係機関との連携 	

(3) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を図ります	【評価】 一部課題あり
------------------------------	----------------

①事業成果	平成 28 年度	令和元年度
	商用データベース提供 596 件	880 件
	商用データベース種類 6 種類	8 種類
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商用データベースの拡充 ・ 郷土資料の電子化（ホームページへの郷土資料の掲載） ・ 電子書籍について、他自治体の動向を調査し、導入に向けた調整を実施 ・ 国立国会図書館レファレンス共同データベースへの事例登録の継続的实施 ・ データベース等の活用講座を一部の図書館で実施 	
②協議会の意見	※若い世代への読書支援の観点からも、電子書籍の貸出を視野に入れていく必要があるのではないか。（第 29 期第 8 回協議会）	
③今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子書籍の導入 ・ Wi-Fi 環境の整備に向けた検討 ・ データベース活用講座や利用者用端末（OPAC）操作研修の実施等 	

(4) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます	【評価】 概ね達成
-------------------------	--------------

①事業成果		平成 28 年度	令和元年度
	郷土資料蔵書数		79,194 冊
震災文庫資料数		10,324 点	12,990 点
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な郷土資料の展示や震災文庫や郷土史をテーマにしたイベントの実施 ・ 郷土資料をテーマにした広報紙「郷土のかぜ」の継続的発行 ・ 市政だよりのコーナー「震災文庫を読む」の掲載開始 ・ 毎月 11 日に震災文庫をツイッターで発信 		
②協議会の意見	○地域に開かれた活動に力を入れている点は評価でき、今後とも継続してほしい。		
③今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民センター（地元学）等地域情報を有する施設との連携強化 ・ 入手困難で利用頻度の高い郷土資料の保存方法の検討 		

(5) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます	【評価】 概ね達成
----------------------------------	--------------

①事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮城教育大学との資料相互貸借の継続・館内掲示による周知 ・ 司書課程の実習受け入れや施設見学受け入れ、連携事業等を積極的に実施 		
②協議会の意見	※図書館の専門職の方のノウハウを学生に授けていただくことは、非常にニーズがある部分ではないか。(第 28 期第 7 回協議会)		
③今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の大学図書館等の学外者向けサービスの情報提供 ・ 専門機関との連携によるレフェラルサービスの実施 ・ 宮城教育大学との資料相互貸借の利用促進 		

方向性2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館をめざします

(1) 乳幼児から小学生まですべての子どもが本と出会う機会を提供します

【評価】
計画以上に
達成

①事業成果		平成28年度	令和元年度
	乳幼児向けおはなし会		162回実施
幼児向けおはなし会		495回実施	478回実施
小1向け図書館利用案内		9,915枚配布	9,135枚配布
	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」の継続配布・配布先拡大 ・マタニティおはなし会の実施 ・小学新1年生への図書館利用案内配布の継続 ・新1年生を対象にした利用者カード引換券の配布 ・自書式の読書通帳の作成・配布 		
②協議会の意見	○読み聞かせについては、読む人がそこにいるという温かさにその良さがあるのではないか。		
③今後の課題	・引き続き乳幼児や小学生に対する読書支援に努めていく。		

(2) 障害のある子どもの状況に合ったサービスを提供します

【評価】
一部課題あり

①事業成果		平成28年度	令和元年度
	特別支援学校・学級 専用資料利用校		11校
	<ul style="list-style-type: none"> ・触る絵本や点字付き絵本、LLブック等の資料を収集し、所蔵リストをホームページに掲載 ・小中学校の全体説明会や特別支援教育コーディネーター連絡協議会でマルチメディアデイジーの周知・広報を実施 ・市民図書館で、手ではなすおはなし会を実施 		
②協議会の意見	※視覚障害のあるお子さんが楽しむことのできる点字の本や、音声が出る絵本、触って楽しめる絵本等を充実してほしい。(第29期第5回協議会)		
③今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児向け資料の利用促進 ・障害がある子どもへの理解を深めるための講座等の実施 		

(3) ヤングアダルト世代の読書支援の充実を図ります

【評価】
計画以上に
達成

①事業成果	平成 28 年度		令和元年度
	中学 1 年生向け利用案内	9,915 枚	10,542 枚
高校 1 年生向け利用案内	12,396 枚	12,200 枚	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングアダルトのページにヤングアダルト向けおすすめ本を掲載するとともに、図書館ツイッターで情報発信 ・ヤングアダルト向けの図書案内を発行 (「YA通信」(子供図書室)、「YAnews」(広瀬)) ・榴岡図書館、広瀬図書館、子供図書室において、中高生から参加者を募り、ブックリストの作成や選書支援の実施 		
②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○SNSについては、セキュリティ対応や専門的知識などの課題もあると思うが、活用を進めてほしい。 ○SNSは、図書館と本と子どもたちとのつながりを保つために良い発信ツールだと思う。 		
③今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きツイッター等を活用し、ヤングアダルト世代への読書支援に努めていく。 		

(4) 学校との連携を強化し子どもの読書活動を積極的に推進します

【評価】
計画以上に
達成

①事業成果	平成 28 年度		令和元年度
	パッケージ貸出利用校	74 校	89 校
ブックトーク利用校	141 校	138 校	
	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市立小学校の全 4 年生に対するブックトーク実施 ・学校貸出図書配送サービスの充実(配送業務委託) ・公共図書館利用学習(図書館見学、調べ学習)支援 ・職場見学や体験学習の受け入れ ・調べ学習の手引きの発行 		
②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども読書支援では、学校訪問、読書通帳、ブックトークなど、これまで図書館ならではの活動を行っている。さらなる効果のため、引き続き学校との良好な関係構築に努めてほしい。 ○市内の小学 4 年生すべてにブックトークを提供していることは評価できる。PR に努めるとともに、今後も継続してほしい。 ○学校貸出しのあり方や貸出返却のあり方など教育現場の声に基づいて、サービスを拡充してきている。 ○児童生徒に一人 1 台 I C タブレット端末の配布が予定されており、これを契機と捉えて、早めに対策を考えていくと良い。 ○学校のホームページに図書館のバナーを貼りつけるなどして、学校図書館との連携を図り、子どもたちや教師が図書館と情報のやりとりを行えると良い。 		
③今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学校連携を図りながら子どもの読書活動推進に努めていく。 		

(5) 家庭、地域などと連携し子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます

【評価】
概ね達成

①事業成果	平成 28 年度	令和元年度
	読書通帳配布数	—
文庫登録数	24 団体	21 団体
	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書フェスティバル（春・秋）や児童文学者講演会など、全館で連携した取り組みの実施 ・読書通帳の作成・配布（ブックトーク訪問時に児童に配布するなど P R） ・「家読」の本のリストの配布や「家読」のコーナーの設置 ・読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施 	
②協議会の意見	○子どもの読書習慣を形成していくためには、読書に意識を向けさせるような、ブックトークやおはなし会の企画が大切であり、児童だけでなく親にも読書の必要性を分かってもらえる工夫が必要だ。	
③今後の課題	・ツイッター等を活用した「家庭での読書時間」に関する情報を発信。	

方向性3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館をめざします

(1) どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします

【評価】
一部課題あり

①事業成果	平成 28 年度	令和元年度
中田サービススポット 利用者数	—	3,007 人
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中田サービススポットの設置（中田市民センターへの返却ポスト設置） ・ 移動図書館車の駐車場所の見直し ・ 移動図書館車の雨天対応を開始 ・ 中田サービススポットや移動図書館の利用者に対しアンケートを実施 ・ 移動図書館車の更新や新たなサービススポットの検討に向けた調整 	
②協議会の意見	<p>○図書館から遠い地域の高齢者など、図書館に簡単に出向けない人がもっと借りやすい方法があるとよい。</p> <p>○図書館空白地域の解消のため設置した中田サービススポットは効果が感じられる。今後もサービスの拡充に努めてほしい。</p> <p>○感染症対策として、移動図書館の拡充や図書の宅配、電子書籍などの非接触型サービスの拡充や、オンラインでのサービスの提供の検討が必要だと思う。また、そこで、蔵書やレファレンスをどのようにして活かすかが知恵の絞りどころである。</p> <p>○デジタル環境を持たない人、デジタルに弱い人も考慮し、来館型サービスを維持しつつ、電子化との両面でのサービスの提供を模索していく必要がある。</p>	
③今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動図書館車の更新 ・ 電子書籍の導入 ・ 分室、移動図書館、サービススポットを含めたサービス窓口の将来像の検討 	

(2) 誰もが使いやすい図書館サービスをめざします

【評価】
概ね達成

①事業成果	平成 28 年度	令和元年度
	大活字本蔵書数	8,738 冊
デージー資料蔵書数	530 点	1,547 点
対面朗読サービス	134 回	175 回
	・ シニア向け書棚の設置、シニア男子のおはなし会 ・ 対面朗読サービス、拡大読書器、筆談ボード等の設置 ・ 障害者向け郵送貸出の実施（対象の見直し）	
②協議会の意見	○日本点字図書館の資料をダウンロードして音訳資料を作成し、全地区館で借りられるようにしている。近くの図書館で利用できるのは便利だと思う。 ○ボランティア論や支え合いの事例等の資料展示など、これからの新しい高齢期像を提供する事業を検討すると良い。 ○市内在住の外国人が1 万数千人いることを踏まえ、外国人向けのサービスに、より丁寧に取り組むと良いと思う。	
③今後の課題	・ 障害者のニーズにあったサービスの調査・検討 ・ 障害者サービスの広報 ・ 病気や育児、介護など利用が困難な方へのサービスの検討 ・ 館内サインの多言語化	

方向性4 自らの変革を進める図書館をめざします

(1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います

【評価】
概ね達成

①事業成果	平成28年度	令和元年度
	譲渡会参加団体数	24件
	<ul style="list-style-type: none"> ・集中選書会議による検討 ・各館の分担収集分野による配置 ・譲渡会開催による除籍済資料の有効活用 	
②協議会の意見	<p>※古くなった本を譲渡する取り組みは、図書館の利用促進につながるのではないか。(第28期第5回協議会)</p> <p>※資料としての価値というものを考える上では、どのような資料を電子化して揃えていくかということも真剣に検討するべきではないか。(第29期第8回協議会)</p>	
③今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースの活用促進 	

(2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます

【評価】
計画以上に達成

①事業成果	平成28年度	令和元年度
	ツイッターフォロワー	—
子ども読書活動推進ボランティア	延725人	延1,052人
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページの全面刷新 ・図書館ツイッターの開設及びツイッターによる継続的な情報発信 ・地域のおまつりや成人式等に出展し、図書館サービスのPR実施 ・読み聞かせボランティアや対面朗読ボランティア養成講座の実施、本の修理ボランティア、書架整理ボランティアとの協働による図書館運営 	
②協議会の意見	<p>○図書館サービスを支える人材の育成のため、さらなる市民や中高生のボランティア参加を促進してほしい。</p> <p>○情報が溢れる中、どのようにして図書館の情報を効果的に伝えていくかが従来から課題として挙げられていたが、ツイッターで画像とともに情報発信されており、図書館の情報が伝わっているものと感じる。</p> <p>○地域のボランティアや関連する方々の育成、養成講座の開催を働きかける等、地域に読書活動の裾野を広げていく機能・役割が図書館に求められているのではないか。</p>	
③今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各種ボランティアや市民参加の促進を図る。 	

(3) 図書館資源を適正に配分し有効に活用します

【評価】
計画以上に達成

①事業成果	平成 28 年度	令和元年度
	雑誌スポンサー広告収入	—
不明資料率	0.26%	0.10%
	<ul style="list-style-type: none"> ・新図書館システムの導入 ・雑誌スポンサー制度導入 ・市民図書館及び太白図書館に B D S の導入 ・若林図書館指定管理第二期（平成 30 年度～）公募・選定 ・若林図書館、広瀬図書館、榴岡図書館に指定管理者制度を導入継続 	
②協議会の意見	○雑誌広告スポンサー事業は、地元企業がなるべく参加できるよう努めてほしい。	
③今後の課題	・財源創出に向けた調査・研究	

(4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います

【評価】
概ね達成

①事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度事業報告書を作成し、図書館協議会の意見を付して公表 ・教育振興基本計画に基づく点検・評価により、事業の進捗管理 ・指定管理運営モニタリング評価の実施 ・利用者懇談会、利用者アンケート、市政モニターアンケート、ご意見箱設置等による市民意見の把握
②協議会の意見	<p>○図書館のあり方が多様化する中、登録者数、利用者数といった現状の枠組みに加えて、例えば様々な分野との連携による事業の成果などを図書館利用の新たな指標として検討してはどうか。</p> <p>※図書館の業務は短時間で成果が出るのものではなく、数値化できない部分も大きい。数字だけでなく中身はどうだったのかとの視点を持ち続けることが大切だ。(第 28 期第 8 回協議会)</p> <p>※アンケートや懇談会、ご意見箱等さまざまな形で意見を聞く姿勢が評価できる。(第 29 期第 2 回協議会)</p>
③今後の課題	・次期計画に向けた評価指標の検討

(5) 図書館職員の資質の向上に努めます

【評価】
概ね達成

①事業成果	<ul style="list-style-type: none">・ 仙台市図書館独自の研修を企画するとともに、他機関で実施する多様な研修への参加・ 主催研修について研修レポートを全館で共有
②協議会の意見	○職員のスキルアップが図書館の基盤となる。積極的に研修等に参加し、その結果を市民へフィードバックできるとよい。
③今後の課題	<ul style="list-style-type: none">・ 職員のアピール力の強化・ S D G s など新しい社会課題への理解促進

【方向性ごとの施策と図書館の自己評価一覧】

1 地域や市民に役立つ図書館をめざします	図書館の自己評価
(1) 文化的で豊かな生活を営む基盤としての図書館サービスに取り組みます	概ね達成
(2) 課題解決に取り組む市民を応援します	概ね達成
(3) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を図ります	一部課題あり
(4) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます	概ね達成
(5) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます	概ね達成
2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館をめざします	図書館の自己評価
(1) 乳幼児から小学生まですべての子どもが本と出会う機会を提供します	計画以上に達成
(2) 障害のある子どもの状況に合ったサービスを提供します	一部課題あり
(3) ヤングアダルト世代の読書支援の充実を図ります	計画以上に達成
(4) 学校との連携を強化し子どもの読書活動を積極的に推進します	計画以上に達成
(5) 家庭、地域などと連携し子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます	概ね達成
3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館をめざします	図書館の自己評価
(1) どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします	一部課題あり
(2) 誰もが使いやすい図書館サービスをめざします	概ね達成
4 自らの変革を進める図書館をめざします	図書館の自己評価
(1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います	概ね達成
(2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます	計画以上に達成
(3) 図書館資源を適正に配分し有効に活用します	計画以上に達成
(4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います	概ね達成
(5) 図書館職員の資質の向上に努めます	概ね達成